

数研出版 編集部

新高等学校学習指導要領が 2022 年度から年次進行で実施されます. この大きな変化を見据えて準備して きた数研出版のデジタル教科書/デジタル副教材「エスビューア」も、いよいよご使用いただけることとな ります.本誌 94,95号でもご紹介してきましたが、今号では、主な機能の概要から効果的な活用法まで、 機能ごとに「何ができるか」について、さらに詳しくご紹介します.

I.「エスビューア」の概要

エスビューアには、次の4種類があります.

・指導者用デジタル教科書(教材)	… 指
・学習者用デジタル教科書	… 学
・学習者用デジタル教科書・教材	… 学+
・学習者用デジタル副教材	… 副

検定教科書版には指導者用と学習者用があります. さらに学習者用には、紙の教科書と同内容の「デジ タル教科書」と、そこに追加コンテンツを収録した 「デジタル教科書・教材」の2つのタイプがありま す.また、参考書やグラマーテキストなど、副教材 版には学習者用をご用意しております.指導者用の ご用意はございませんが、『提示用オプション』の ご利用でスクリーンなどに投影してご活用いただけ ます.それぞれの対応書籍については、p.7のライ ンアップにてご確認ください.

次項以降,主な機能の概要を紹介します.各機能 に付された間, 学, 学+, 副のマークは, そのタイ プのエスビューアが当該機能に対応していることを 示しています.



▲「エスビューア」本棚の表示例

Ⅱ.基本的な機能

●紙面表示 指, 学, 学+, 副 表紙、見返しを含め、書籍の内容をすべて収録し ています.指導者用では,授業時に紙面を大きく映 し出すことで,教員と生徒間,また生徒同士での情 報共有が容易になり,スムーズな授業展開を可能に します.



●ツールバー 間, 学, 学+, 副
 「ペン」「ふせん」「スタンプ」「消しゴム」「拡
 大・縮小」「しおり追加」「目次・検索」などの基本
 的な機能が利用できます.

▼ツールパ-	- / 7	K-1	オプション	/ 「学習記	録	
R	あ . ふせん	<u>A</u> 2977		● 新大・細小	Laoim	のの

表示した教材紙面上に、「ペン」「スタンプ」「消 しゴム」機能を使って「書き込み/消去」ができる ので、デジタル板書として便利です.

また、「しおり追加」しておけば、生徒なら復習 する際に、教員なら次の授業の再開時などに便利で す. さらに授業で扱うポイントのメモとしても使え るので、授業準備にも最適です.

● QR コードコンテンツ 掴, 学, 学+, 副 デジタル教科書/デジタル副教材をオンラインで ご使用の場合には, QR コードコンテンツをご使用 いただけます.

- ① 音声再生
 (リスニング)
- 2 数研発音マスター (音読・発音練習)
- ③数研 WPM カウンター (速読練習)
- ④ 動画再生
 (文法解説動画)
- ⑤ 文法解説 PDF
- ⑥ テーマ解説スライド
 - ③ コミュニケーション英語のみ
 - ④⑤ 論理・表現のみ

⑥ EARTHRISE 論理・表現シリーズのみ

■ BLUE MARBLE English Communication I :	
Lesson 5 Part 1	
Have you ever heard of Rwands? It is a country with great natural beauty in central Africa. Marie Louise Kambenga a peace activist, is from Rwanda. Stewas the only gir who gridues: Crom light shool in her wildge: Crom light shool in her wildge: Crom light shool in her wildge and the studied home commission dreamsking teacher. In her enool, there was a Japone voluntieer. She recommended bouise as a trainee in Japon. In 1993, Lustie came to Fukushima as	河南平由 ●5.7
with a host family in Japan was a	(1) Have you ever heard of Rwanda?
completely new experience for her. Louise was really amazed when she saw	Have you ever heard of
an elderly woman reading a	Rwanda?
 □ I • □ I • ■ I • □ •	
BLUE MARBLE English Communication 1	
Lesson 5 Part 1 SUKEN WPM COUNTER	
BLUE MARBLE English Communication I	Rec () Piny ±94 ▼ () () Score () () () ()
Normal Challenge	▲ ②数研発音マスター
Word Count 153	
00:00:00	
START	
Your WPM 0	
▲ ③数研 WPM カウン	ター



Ⅲ. 本文指導に有用な機能

●テキストビュー

指, 学+, 副

新出語や本文は、ワンクリックで大きく表示でき ます. さらに本文表示では、文字サイズや行間の調 整も可能です. このテキストビュー上でも、「ペン」 「ふせん」「スタンプ」などが使用可能で、重要な箇 所に下線を引いたり、一部を隠したり、SVOC な どのスタンプを押したりすることもできます.

本文のテキスト表示・音声再生は、「カラオケ」 「フェードイン」「フェードアウト」などの複数の方 式に対応しています.例えば、「カラオケ」では音 声に合わせてテキストの文字色が変わるため、綴り と音の関係や、音の脱落や同化など、英語特有の発 音ルールに意識が向くようになります.また、「フ ェードアウト」では、音声に合わせてテキストが消 えていくため、音声に遅れないように音読すること で、ゲーム感覚で音読に取り組むことができます.



音声の再生速度は 0.5 倍~ 1.5 倍の幅で調整可能 です.また、「指導者用デジタル教科書(教材)」で は本文の日本語訳(英文と合わせて/日本語のみ)を 表示できます. これらにより、習熟度や学習目的に 合わせて、さまざまな方法で本文が活用できます.

さらに、英語コミュニケーションでは、本文のフ レーズ表示にも対応しています. フレーズ間にブラ ンクを設けた音声が再生できるため、フレーズごと の音読練習が可能です. フレーズリーディングによ り、英文を意味のまとまりごとに、英語の語順のま ま理解する、直読直解の習慣が身につきます.



▲ フレーズリーディング

●フラッシュカード 指 学+ 英語コミュニケーションでは、新出語や本文(一 部を除く)は、フラッシュカード形式で再生できま す. 英語カード、日本語カード、発音記号カード、 英日併記カードなどを組み合わせて使用できます.



オススメ!

英語コミュニケーションでは、速読トレーニング機能と通訳トレーニング機能が利用可能です。



画面下部の START ボタンを押すと、英文が表 示され、同時に WPM (words per minute)の計 測が始まります.



|ノーマルモード| 語数と読み終えた時点での経 過時間から WPM を算出. あらかじめ目標 WPM を設 定し、その制限時間内に読み 終えられたかどうかを判定.



教科書本文を使い、「英→日」「日→英」を制限時 間内に訳す(話す)練習をします。 「フレーズごと」または「1 文ごと」に表示され

た英語または日本語を訳していきます.

「自動めくり」モードの場合は、速読トレーニン グと同様、タイマーの制限時間内に訳します(制 限時間に達すると、解答(訳)が表示されます).

●ス	ライドビ	ユー			指,	学+,	副
問	題や写真	などの細	面の各	要素を払	広大表	辰示でき	ま
す.	さらに,	「指導者	用デジ	タル教科	∤書(扌	敎材)」	C
は解	答や和訳	の表示,	リスニ	ング問題	夏の音	声再生	<u>.</u> •
スク	リプト表	示なども	できま	す.			



▲ スライドビュー

ふせんをはがして解答を表示することができます. 一つ一つはがせるので,生徒の反応を見ながら適切 なタイミングで解答を表示できます.



●コンテンツ集

○スライドショー

指

英語コミュニケーションの「指導者用デジタル教 科書(教材)」では、各レッスンの題材に関するスラ イドショーが再生可能です。音声・字幕それぞれで、 英語・日本語・OFF の切り替えができます。



▲ スライドショー

スライド内容に合わせてナレーションが流れます. 字幕の ON・OFF, 英語・日本語を切り替えるこ とで, 習熟度に合わせたリスニング活動としても効 果的です.

また, TEACHER'S MANUAL 付属データ DVD-ROM には PowerPoint 形式のスライドショ ーデータを収録しています. 字幕に適宜空所を設け てプリントとして配付すれば, ディクテーション活 動としての展開も可能です.

Dessoil of Mayrepyon	245	
【スクリプト】		
Around the world, ma	my people are still suffering from war. () of them lose
their own homes. () must leave their own countries to esc	ape from war. In
refugee camps, such pe	ple are living hard lives.	
How does war chang	e people's lives? In some countries, ()())
adults () () children fight as soldiers. Look at th	is picture. Sadly,
young children are train	uing to use guns.	
How can we make a	world () war? This lesson is a stor	ry about a woman
() Rwanda.	She survived the Rwandan civil war. () her dramatic
story you can loam () the key to peace	

▲ ディクテーションとしての活用例

ナレーション・字幕をいずれも OFF にした状態 で、手動でスライドを切り替えながら、先生自らが 解説を加えることも可能です.

○本文解説動画

指, 学+

英語コミュニケーションでは、各パートの本文解 説動画が視聴可能です. 当該コンテンツは、「指導 者用デジタル教科書(教材)」ではコンテンツ集から 呼び出すことができます.



▲ 本文解説動画

なお、「学習者用デジタル教科書・教材」では、 生徒は教員が視聴を許可した場合に限り、各パート のスライドビューから視聴可能になります.なお、 視聴の可否はパートごとに制御することができます.

Ⅳ. その他の便利な機能

●教材連携 置, 学+, 副 複数のデジタル教科書/デジタル副教材をご採用 いただいた場合,閲覧中のページや問題から,関連 する教科書/副教材(参考書・グラマーテキスト)の ページにジャンプすることができます.

例) · EARTHRISE English Logic and Expression I Advanced 学+

・チャート式シリーズ EARTHRISE 総合英語
 副

を採用している場合

『学習者用デジタル教科書・教材 EARTHRISE English Logic and Expression I Advanced』を 使用中に,各課に出てくる文法事項の詳しい解説を 参照したい場合,右上の教材連携ボタンをクリック するだけで,『デジタル副教材チャート式シリーズ EARTHRISE 総合英語』の該当ページを開き,解 説を確認することができます.



参考書の詳しい解説を確認した上で,教科書の活動 に取り組むとより理解が深まります. ●ポートフォリオ機能 脂, 学+, 副 生徒一人一人の学びを記録として残すことで, 振 り返りが可能になります. 論理・表現の教科書を例 に, 機能について詳しく見ていきます.

※「学習者用デジタル教科書・教材」または「学習 者用デジタル副教材」をご採用時に利用可能な機 能です.



▲ ポートフォリオ

『学習者用デジタル教科書・教材 EARTHRISE English Logic and Expression I Advanced』の 紙面から,問題部分をクリックすると,その問題が 拡大表示されます.問題に取り組んだ後で,「学び を記録」というボタンをクリックすると,上記のよ うな記録用画面が現れます.各問題について「でき た/できなかった/解いていない」を選択し,「記 録」をクリックします.このようにして生徒一人一 人の学習が記録として蓄積されます.このとき,問 題を解いたノートの写真を撮り,コメントとともに 記録に残すことが可能です.



振り返りながら学びの記録を蓄積していくことで, 生徒一人一人の学びのアルバムが出来上がります. ●先生と生徒をつなぐ連携機能 <u>間</u>, <u>浮</u>+, <u>副</u> 先生から生徒へ課題やプリントを配信したり, 生 徒から先生へ課題を提出したりするなど, 先生と生 徒をつなぐ連携機能です. 双方向の授業や, オンラ イン授業にも対応できます.

※「学習者用デジタル教科書・教材」または「学習 者用デジタル副教材」をご採用時に利用可能な機 能です.



例えば、『EARTHRISE English Logic and Expression I Advanced』につき、教科書に出て きた文法事項の解説や確認問題を、生徒の端末に配 信することが可能です。一方、生徒は送られてきた 課題に取り組み、それを提出することができます。

先ほどのポートフォリオ機能と併せてお使いいた だくと,先生は生徒一人一人の学習状況を把握する ことができます.

※英語コミュニケーションⅡ, 論理・表現Ⅱは制作中につき, 内容が一部異なる場合があります.

※記事内に記載の会社名、システム名、製品名は一般に各 社の登録商標または商標です。